



御所見防災



2026年3月号

～ 2025 年度の活動を振り返って～
自主防災活動は、御所見の環境特性を活かして
13 自主防災会が取り組んでいます !!



御所見地区防災組織連絡協議会会長 椎野 幸一

古里住宅自主防災会が藤沢市地域防災活動推進大会で事例発表

1月25日（日）、藤沢市防災組織連絡協議会と藤沢市の共催により、藤沢市地域防災活動推進大会がFプレイス（藤沢市民センター・労働会館等複合施設）で開催されました。

藤沢市防災組織連絡協議会の活動報告から始まり、次の地域防災活動事例発表では、御所見地区古里住宅自主防災会の発表に移りました。御所見地区防災組織連絡協議会でバスをチャーターし、御所見地区から22名が会場応援に駆けつけ、発表を見守りました。

藤沢市の自主防災活動の先進事例として、大きな期待を抱えながら発表を引き受けた御所見地区。新年を迎えた私たちは、この事例発表がこれからの地域防災活動に活用され、本来の自主防災活動、さらには藤沢市の防災力の向上につながることを期待しています。そして、御所見地区の13自主防災会の防災力が今まで以上に活発になり、普段の備えに「生きる・助ける」を目標に、令和8年度の活動を前進させましょう。この1年間の大きなお力添えに感謝いたします。

令和8年度は、御所見地区の防災力向上のため、13自主防災会が連携し、「5本の柱」を中心にそれぞれの環境特性を新たに発見して、令和8年度の活動計画に盛り込んで、活動をつなげましょう。「5本の柱」は、次のとおりです。

- 自主防災活動の活性化
- 避難行動要支援者対策の充実
- 避難施設運営の確立
- 各地区防災拠点本部の役割強化
- 災害救援ボランティア受入体制の確立



11月15日（土） 御所見地区総合防災訓練 開催

今年の御所見地区総合防災訓練は、雨の心配はなく、新しい訓練も含めて12の訓練項目を設定して開催しました。「安否の確認訓練」は8時30分から、会場訓練は10時20分から始まりました。

新しく取り入れた訓練の中でも、「119番通報訓練」は非常に人気がありました。かなりの待ち時間が発生してしまったという課題があり、来年度の実施に向けて改善が必要です。

その他、子どもを対象とした訓練項目を企画して、家族での参加による防災意識の高揚につなげるという取り組みは、成功を収めました。

「安否の確認訓練」は、これまでの総合防災訓練で表示率60%以上を確保してきましたが、今年度は55%にとどまりました。これは、総合防災訓練の開催周知が不十分だったことが要因の1つだと考えており、各地区の備えに対する意識が薄れているようです。来年度は、この表示率を向上させるため、自主防災会と連携して取り組んでいきます。



市長視察



シェイクアウト訓練



13 自主防災会 集合



安否の確認報告



消火器訓練



車いすを用いた操作誘導訓練



119 番通報訓練



防災食試食ブース



家庭で準備できる自助紹介ブース

「5本の柱」の取り組み状況 今後の活動

項目	狙いどころ	結果と今後の進め方
① 自主防災活動の活性化	・13 自主防災会の自主防災活動のレベルアップ。	・家具の転倒防止。 ・ブレーカーの遮断。 ・各自主防災会の活動推進を強化する。
② 避難行動要支援者対策の充実	・備えの取り組みを、何をどのようにするか再度検討する。	・現状のままでは、助けることへの取り組みが不足しているため、活動推進を強化する。
③ 避難施設運営の確立	・従事職員を中心に3か所で訓練を実施した。	・現在のマニュアル内容の不備と標準化のための検討を行う。御所見ルールの検討。
④ 各地区防災拠点本部の役割強化	・訓練実施による役割分担、備えの意識の向上。	・要支援者の受入体制の確立と手順書の明確化を図る。
⑤ 災害救援ボランティア受入体制の確立	・コーディネーター養成講座の受講。 ・開設準備計画の実施。	・6名受講したため、ボランティア受入対応は進んでいる。サテライトセンター設置に向けた検討を次年度始める。

御所見地区防災組織連絡協議会から各自主防災会へのお願い

- 本協議会としては、総合防災訓練の訓練項目の中で、備えの目的を達成するよう努力していきます。
- 各自主防災会においては、「5本の柱」の地域特性を選択して、自主防災会ならではの訓練を計画し、実施していただくようお願いします。
- 避難行動要支援者の名簿の活用は、個別避難計画を作成する活動から始まります。各自主防災会で個別避難計画の整備・点検をお願いします。
- 防災活動は、まちづくりを目指して活動を続ける必要があるため、引き続きご協力をお願いします。



2025年度の目標と評価

1. 自主防災活動の推進

- ① 地域特性（環境）の問題課題を発見し、計画書による進捗状況をPDCAで確認して、活動を行うことができています。
- ② 自主防災会による防災訓練の独自開催にバラツキがあるため、計画書の取り組み項目を見直し、意識向上を図ることを期待しています。

2. 市と連携した防災力の向上

- ① 避難所運営において、従事職員の参加意識が強くなり、避難所訓練に向上心が芽生えてきました。
- ② 自主防災会には、避難時の高齢者・要支援者等への誘導の取り組みに期待しています。

3. 防災訓練の実施

- ① 総合防災訓練では、新しい訓練項目を実施することによって、防災の備えに対する意識が向上しました。特に、119番通報訓練の参加者に、その意識の向上がより目立ちました。
- ② 防災訓練を独自で実施している自主防災会は少ない状況です。自主防災活動の推進を図るため、自主防災会による独自の防災訓練開催を期待しています。

災害対策課からのお知らせ ～災害時福祉ボランティア募集中～

現在、市では福祉避難所（一次）等の運営をお手伝いしていただく「災害時福祉ボランティア」として、保健福祉や語学に関する資格や経験をお持ちの方を募集しております。

「災害時福祉ボランティア」は、保健福祉や語学の分野で資格や経験を有する方で、災害時のボランティア活動にご協力いただける方が、事前に登録をしていただくことで、大規模災害発生時に福祉避難所（一次）等にお集まりいただき、受入をした要配慮者に対して、介助等のお手伝いや市の職員への助言を行うなど、福祉避難所（一次）等の運営の補助をお願いするものです。

詳細は、市HP又は災害対策課にお問い合わせください。



(市HP)

コラム

椎野 幸一

共生社会の取り組みが進む中で、藤沢御所見病院のリハビリテーション農場が、地域活動の取り組みとして注目されています。これは、病院の敷地を有効に使って開園した事業の1つです。

この農場が、世界のアルツハイマー週間に、農場視察を受け入れて、この活動をPRしました。

高齢社会の環境から、全国を見ても病院敷地内にあることは珍しいので、この事業を広めていきたいと考えています。

【発行】御所見地区防災組織連絡協議会

【文責】会長 椎野 幸一

【事務局】御所見市民センター
地域づくり担当

住所：藤沢市打戻1760-1

電話：0466-48-1002